

たつのまち の議会だより

No.60
2016年2月1日

第五次総合計画・後期基本計画決まる

今号の記事

- ◎12月定例会
- ◎一般質問 12名
- ◎議会報告会
- ◎臨時議会



12月定例会

第五次総合計画 変更案は一部を修正

町提案19議案、議員提案4議案を可決



総合計画の変更について自宅
審査としました。

最終日の15日には、両委員
会に付託された条例4件、公
の施設の指定管理者の指定等
について、委員長の審査報告
があり、いずれも報告のお
り可決しました。また、自宅
審査に付された補正予算3件
を可決しました。

第五次総合計画の変更につ
いては、議員からの修正動議
があり、一部修正のうえ、可
決しました。

12月定例会は去る12月1日
に開会し、条例制定・一般会
計補正予算等19議案が提出さ
れました。

このうち、条例改正4件、
補正予算3件、契約変更2
件、町道路線の認定1件につ
いて即日可決しました。

また、条例制定4件、公の
施設の指定管理者の指定につ
いて1件、陳情8件の内7件
(1件は文書配布)の審査を
各常任委員会へ付託、一般会
計等補正予算3件、町第五次

する条例の制定

○農業委員会の委員及び農地
利用最適化推進委員の定数
を定める条例の制定

○消防団員等公務災害補償条
例の一部改正

・以上4件は委員会報告のと
おり

○町税条例及び町税条例等
の一部を改正する条例の
一部改正

・町税の収納率向上のため
に、徴収猶予等に関する規
定を整備するもの

○国民健康保険税条例の一部
改正

○介護保険条例の一部改正
・以上2件は、税・保険料の
減免手続きにおける個人番
号利用に関する規定の整備

○公共下水道条例の一部改正
・水質汚濁防止法施行令の改
正に伴う排水基準の改正

各会計補正予算と主な内容
○平成27年度一般会計補正予
算(第6号)

・貸与を受ける電気自動車の
充電設備工事
・2千件を超えるふるさと寄

付金の管理システム構築

・障害者自立支援給付費増額
・簡水送水ポンプ等工事補助
・街路樹剪定委託料

○平成27年度公共下水道特別
会計補正予算(第2号)

○平成27年度特定環境保全公
共下水道特別会計補正予算
(第1号)

・以上2件ともに、前年度事
業確定に伴う消費税納付金
の増額

○平成27年度国民健康保険特
別会計補正予算(第2号)

・高額療養費の増額

○平成27年度後期高齢者医療
特別会計補正予算(第2号)

○平成27年度介護保険特別会
計補正予算(第2号)

・介護予防給付ケアマネジメ
ント委託料

その他の議案と主な内容
○松本射撃場周辺道路改修等
事業町道147号線工事請

負契約の変更について
○辰野西小学校体育館改修工
事(建築)請負契約の変更
について

○辰野町第五次総合計画の変

更について

(詳細については後述)
○公の施設の指定管理者の指
定について

・委員会報告のとおり
○町道路線の認定について

・宮木泉水地区、延長29・5
mの一路線。

**辰野町第五次総合計画の
変更決定について**

・平成23〜32年度の総合計画
の一部変更と28〜32年度の
後期基本計画を議決。

・まちづくりの合い言葉を
「住み続けたい 帰りたい
住んでみたいまち
つ」とし、将来目標、取
り組み目標、人口減少対
策などの五つの重点プロ
ジェクト、地域計画、第
六次行財政改革大綱等に
よって構成。

《議員提出修正案の内容》

〈発議者：岩田・根橋・堀内〉
教育環境の充実として「教育
的視点から、少子化に対応し
た学校の適正規模・適正配置
の検討」に関する項目等を追
加

《修正案に対する質疑・討論》

○質問

小中一貫教育と義務教育学校について明記すべきでは。

○提出者の答弁・討論

教育委員会・教育総合会議での議論がまだ進んでいないと思われる。教育環境の整備は若い世代の定住問題につながる。行政の中での進展に期待したい。

陳情に対する

委員長報告への討論(要旨)

《安全保障関連法の採決強行に抗議し法の廃止を求める陳情》

【不採択に反対：瀬戸】

日本国憲法に真つ向から背く違憲立法であり、圧倒的多数の人々が憲法違反と批判の声をあげている。立憲主義、民主主義というわが国の存立の土台が根底から覆されかねない問題だ。憲法を守り、違反行為に抵抗しなければならぬ立場の議員として、安保法制廃止の地域住民の声を国へ届ける使命があると考ええる。

【不採択に賛成：小澤】

法が、違憲か合憲かは、最高裁判所が判断するのであって、今、違憲というのは間違っている。この法は、戦争法ではなく、戦争を防ぐ平和安全法制である。現在、わが国を取り巻く状況は、安全保障環境におけるリスクが高まっており、日本の安全と、平和な暮らしを守り抜くために、必要な法律だ。

【不採択に反対：向山】

政府が憲法解釈を変更し、集団的自衛権を容認した。しかし、イラクへの自衛隊派遣における集団的自衛権の行使が憲法違反であるとの名古屋高裁の確定判決がある。わが国は戦争ができる国へと舵を切った。憲法違反の法律で、国民の生命と財産が脅かされようとしており、これを放置してはいけない。

【不採択に賛成：中谷】

二度と戦争を起こさないことを絶対的条件とし①友好国との信頼関係を深めることは大変重要②戦争を未然に防止するための抑止力は大切③積極

的に国際貢献を行い信頼されることが求められている④武力行使が拡大しないよう国会承認等の歯止め策がある⑤既に同趣旨の意見書を提出してある。

《私立高校に対する公費補助をお願いする陳情書》

【趣旨採択に反対：根橋】

趣旨採択という結論は議事運営上なじまない。就学支援金制度の拡充・私学助成の増額の部分のみ一部採択とすべき。

【趣旨採択に賛成：垣内】

助成は進んでいるし、毎年同様の意見書はいかかものか。陳情書提出者の意見に寄り添う意味で趣旨採択とすべき。

議員発議による意見書

○労働基準法改定案の撤回を求める意見書

○介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求め
る意見書

○TPP交渉に関する意見書
○福祉医療費窓口無料化に向けた意見書

陳情の審議等の状況

件名	提出者	委員会審査	本会議		
			賛成	反対	議決結果
私立高校に対する公費助成をお願いする陳情書	中信地区私学助成推進協議会	趣旨採択	岩田・中谷・山寺・堀内 小澤・篠平・宇治・熊谷 垣内・成瀬	根橋・向山 瀬戸	趣旨採択
安全保障関連法の採決強行に抗議し法の廃止を求める陳情	上伊那地区憲法を守る会・ 上伊那地区労働組合会議	不採択	中谷・山寺・堀内・小澤 篠平・宇治・熊谷・垣内 成瀬	岩田・根橋 向山・瀬戸	不採択
TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求める陳情		不採択	13	0	不採択
労働基準法改定案の撤回を求める陳情		採択	13	0	採択
介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情	長野県医療労働組合連合会	採択	13	0	採択
TPP交渉に関する陳情	上伊那農民組合	採択	13	0	採択
TPP交渉大筋合意に関する陳情書	上伊那農業協同組合	採択	13	0	採択
沖縄の米軍辺野古新基地建設の即刻中止と県民に寄り添う計画見直しを求める陳情	平和って何だ・伊那谷		文書配付		

臨時議会

平成 27 年 11 月 13 日臨時議会が開催され、27 年度一般会計補正予算と建設工事委託内容変更について、原案どおり可決しました。補正予算の内容は、71,135 千円を追加するもので、歳入の主な内容は、地方創生先行型国庫交付金、ふるさと寄付金等。

歳出の主な内容は、①ふるさと寄付金謝礼 20,000 千円②地方創生先行型事業として、ふるさと紹介しよう事業、定住促進奨励金、広域観光連携事業など 8 事業に 39,800 千円③両小野国保診療所負担金 11,335 千円。

委員会審査から

条例審査
陳情審査

総務産業 常任委員会



総務産業常任委員会に付託された条例等5件、陳情5件について12月10日審査を実施しました。

条例等審査

■辰野町個人番号の利用に関する条例

この条例は、行政手続きにおける個人番号利用に関して必要な事項を定める条例です。
問 この条例の運用に当たっては、職員の法令順守が課題となる。内部統制をどのように強化するか。決裁稟議システムの改革が必要と考えるがどうか。

答 マイナポータル制度（情報提供等記録開示システム）によって町民がチェックできるようになっている。今後、上伊那広域連合の企画会議等で

マニュアル等検討していく。
問 職員が情報を漏えいした場合の罰則はどのようになっているか。

答 個人情報保護法の罰則が適用される。

問 町長と教育委員会はどのような関係になるか。

答 町長部局内部は連携であり、教育委員会との関係は、情報提供ということになる。

問 一部事務組合と町長の関係はどうなるのか。

答 関係はない。

■辰野町個人番号カードの利用に関する条例

この条例は、行政手続きにおける個人番号カードの利用に必要事項を定めるものです。

問 コンビニで利用できるか。
答 利用できる。

問 写真を添付して交付を申請することになっているが、年数により人相が変化することに対応するのか。

答 カードは大人が10年、子どもは5年で更新が必要になる。

問 カードの発行までに住基カードの期限が切れる場合が想定される、どう対応するのか。

答 1ヶ月前に通知する。期限が切れても、住民カードとして使えることを周知していく。

■辰野町農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数を定める条例

この条例は、国の法律改正に伴い委員の定数を定めるものです。

問 推進委員の役割は何か。農地集約の役割をはたせるか。

答 中間管理機構を機能させるが、同機構が契約するには法人格がないとできない。現在「たつの営農」に集約し、法人化を目指している。この体制で推進委員の活動により農地集約を進めたい。

問 現在女性の農業委員は3

名であるが、今後女性の選任はどうか考えているか。

答 農業者以外の委員については女性を考えている。

■辰野町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

この条例は、厚生年金保険法等の一部改正に伴い消防団員等の公務災害補償の基準を改正するものです。

問 当町の該当者の人数は。
答 3名である。

以上の4条例について採決の結果、全会一致にて可決すべきと決しました。

■辰野町公の施設の指定管理者の指定

本議案は、「湯にいくセンター」の指定管理者として株式会社サンアメニティを指定するための議案です。

問 地元雇用者が目まぐるしく変わるが、その原因はなにか。

答 今後調査したい。

問 候補者選定にあたりヒアリングは実施したか。

答 必要により行うことになっているので、今回は実施していない。

採決の結果、全会一致にて可決すべきと決しました。

陳情審査

安全保障関連法の採決強行に抗議し法の廃止を求める陳情
賛成意見 安保関連法は違憲であり、放置し、その発動が行われることは問題だ。

反対意見 安全保障関連法はすでに成立しており、選挙で覆すしかない。

採決の結果、採択に賛成1、反対5で不採択にすべきと決しました。

TPP参加に反対し情報公開と国会審議の徹底を求める陳情

賛成意見 大筋合意の内容は国会決議に違反している。アメリカはISDS条項、医療の国民皆保険制度、自治体の工事発注内容などで国家主権無視につながる攻撃をしてくる。

反対意見 すでに大筋合意している段階で、TPP参加反対はなじまない。TPPは工業立国の日本としては、基本的に必要である。

採決の結果、採択に賛成1、反対5となり、不採択にすべきと決しました。

労働基準法改定案の撤回を求める陳情

賛成意見 長時間労働が問題となっており、働く者に寄り添った施策を実施すべき。体内時計を守って働くことが大事で、うつ病や過労死防止への取り組みが大切。

反対意見がなく全会一致で採択すべきと決しました。

賛成意見 TPP交渉に関する陳情（協定本文を開示し、協定への調印・批准は行わないことを求める）

賛成意見 大筋合意という内容が公開されていないことが問題。国会決議に反する内容であれば撤回すべき。

反対意見 TPPは必要と考えるので、撤回には反対である。

採決の結果、採択に賛成4、反対2となり採択すべきと決しました。

賛成意見 TPP交渉大筋合意に関する陳情（農業・農村を守る万全な対策実施を求める）

賛成意見 農業に関しては影響が大きいことは事実だ。農業分野は国際競争力が遅れている、自助努力も必要だが農業への手当ても必要。

反対意見はなく、全会一致にて採択すべきと決しました。

反対意見はなく、全会一致にて採択すべきと決しました。

委員会審査から

福祉教育 常任委員会

- 陳情審査
- 議員発議意見書



めぐもりの里
「JA上伊那デイサービスセンター」

陳情審査

陳情2件について12月10日委員全員出席のもと、慎重に審査を行いました。

私立高校に対する公費助成を
お願いする陳情書

平成26年度から「就学支援金」制度が改正されたが、公立と私立の学費の差は大きく保護者の負担は深刻な状態が続いている。また、私立高校において教育環境の改善が求められており、公教育の一翼を担う私学振興のため次の事項を要望するもの。

- 1 私学生徒の保護者負担軽減のため保護者への直接補助。
- 2 就学支援金制度の拡充、私学助成の増額を国会、関係省庁に要望する意見書の提出。

審査内容 教育長および担当

然性がある。それなりの保護者の負担増は致し方ない。

審査の結果 趣旨採択：5名、一部採択：1名、結果、趣旨採択にすべきと決しました。

介護労働者の処遇改善及び人員配置基準の改善を求める陳情

超高齢化時代を迎え、介護人材不足は顕著、国の責任で人材確保に向けた取り組みを行うべきとし、次の意見書の提出を要望するものです。

- 1 介護要員の処遇改善。
- 2 介護施設の人員配置基準の改善と実現に向けた費用を国が負担すること。

審査の結果 委員全員一致で採択とし、意見書を提出すべきと決しました。

議員発議

「福祉医療費窓口無料化に向けた意見書」の提出

趣旨 子ども医療費助成の拡充は市町村が少子化対応のため独自に実施しているのが現実です。辰野町議会は先の9月定例会において、国民健康保険国庫負担金の調整（減額）措置の廃止を求める意見書を全員一致で国に提出致しました。今回、福祉教育常任委員会は国の動きに鑑み、少子化対策の一助として長野県知事に対し、国庫負担金の減額調整措置が廃止された場合、県として速やかに、福祉医療費の窓口無料化を実施するべく、意見書提出を議員発議することに決しました。

課長から、平成26年度の就学支援金制度改正内容および公立と私立における学費の差の現状と、以前行われていた町の助成制度についての説明を受け、審査検討を行いました。

意見1 毎年同時期に出されている陳情であり、南信地区私学からの請願は近年出されていない。だが、私学に通う保護者の学費負担増等は顕著であり請願の趣旨は理解できる。

意見2 就学支援金制度の改正により負担軽減に繋がっている。

意見3 私学に通う家庭の負担増は顕著で、私学は学生の受け皿として任を負っている事から意見書を提出すべき。

意見4 私学の独自性は、高い学費により保たれるとの必

事から意見書を提出すべき。

意見4 私学の独自性は、高い学費により保たれるとの必

超高齢化時代を迎え、介護人材不足は顕著、国の責任で人材確保に向けた取り組みを行うべきとし、次の意見書の提出を要望するものです。

- 1 介護要員の処遇改善。
- 2 介護施設の人員配置基準の改善と実現に向けた費用を国が負担すること。

審査内容 担当課長・職員による平成27年度介護報酬法令の変更及び現状の説明を受けた後、審査検討を行いました。

意見1 介護報酬が改定されたが、過重労働等の実態は依然厳しい状況であり、人員不足等の課題が多く改善が必要。

意見2 基本報酬の引き下げにより、介護サービス事業は厳しい経営を強いられ、介護労働者の待遇と介護の質の低下が懸念される。



一般質問

辰野町功績者表彰式の式典の持ち方、人選方法の見直しの考えは

町長 見直す時期が来ている、方向性として異存はない



成瀬 恵津子 議員

辰野町 功績者表彰式の 持ち方について

問 平成13年から始まり今年で15回目となった功績者表彰式を新町発足60周年を迎え、一つの節目として式典の持ち方、人選方法を見直す時ではないかと考えるが町長の考えは。

町長 色々なところから、そういった意見が出ています。60周年を迎え、見直す時期が来ている。5年か10年ごともいいのではないかと考えていたので方向性としては異存はない。

問 今までの受賞の条件を変え、各分野にこだわらず、より多くの方に感謝状という型、また、華やかな式典ではなくても良いと思うが町長の考えは。

町長 色々なところで感謝状の贈呈は行っているが、新たな方法で行うことは良いことだと思つ。

問 今後の功績者表彰式の持ち方、人選方法の見直しについては、検討委員会を発足し、検討していく考えは。

町長 議会、委員会などで考えていくことは大事である。曲がり角にきていることは認識している。皆さんの納得のいく方向で進めたいが、良いかと思つ。

身体障がい者・病時病後者の温泉 利用料金について

問 パークホテル、湯にいくセンター、かやぶきの館の月平均の利用者数は。

課長 冬期間は、パークホテル、湯にいくセンターは利用者が伸びている。

問 3施設がもつとたくさんの方が利用しやすい方法を指定管理者とともに検討していくべき。

課長 指定管理者と利用者の意見などについて話し合いを持っている。

問 障がい者、病時病後者に対して温泉利用料金の割引についての町の考えは。

課長 全体の福祉施策の中でバランスを考えた、総合的にやっていたければと考える。



一般質問

町の人口目標について、出生率を希望の観測でなく実現可能な目標値として努力すべきだ

町長 国の施策や交付金を活用しながら人口減少に歯止めを掛けていきたい



岩田 清 議員

つば」ではサポートを養成している。施設においては小野地区に特別老人ホーム29床、介護老人福祉施設29床を計画している。

問 第三の矢、GDP 600兆円については。

町長 町の法人税収10%減が予想され、きめ細かい経済政策を地道にやるしかない。

問 若者の人口流出を食い止める施策及びインターネットシップ制度を拡大できないか。

課長 若者の就労支援のための「お祝い金制度」を考えている。インターネットシップは3社が実行中、手ごたえを感じている。2月に中間報告会を予定。さらに商工会と協力して事業の拡大を考えている。

問 教育委員会の制度

改革にともなつて、教科書採択および教職員人事に変更があるか。

教育長 原則、無い。

問 教科書の採択について出版社の「編集会議」で謝礼を貰っていた校長について、次年度採択への影響は。

教育長 あつてはならないこと。文科省の調査を待ちたい。次年度の教科書については別の出版社が採用された。

問 教科書採択については、構造的な問題があると考えられる。各町村の教育委員会が自由な独立性を持って選択できるようにすべきだ。学校再編統合については議論されているか。

教育長 川島小学校については議論されている。全体の再編論は今後して行く必要がある。

問 読書時間は学校で充分確保されているか。

課長 小学校の読み聞かせの時間など工夫されて充分だと思つ。

一般質問

介護予防・日常生活支援総合事業をサービス低下のないよう町の責任で実施してほしい
長町の責任で委託事業所やサポーターと話し合い町実施していく



瀬戸 純 議員

問 介護保険改定で、要支援者及び認定されないが支援が必要と思われる方（非該当者）対象の、来年度実施の介護予防事業・日常生活支援総合事業に向けた、本年度の介護予防事業の実施状況は。
課長 事業所委託で訪問型サービス【A、結】通所型サービス【あゆみ、よつば】等を実施している。
問 総合事業を支える高齢者生活支援サポーターの役割は。
課長 養成講座修了者（ボランティア）に事業所の指示による事業所

のサポートを行ってもらう。
問 サービスの提供はサポーターではなく事業者であり、また、現行の介護予防給付相当のサービスは、デイサービスあゆみと訪問介護Aサービスと考えるとよいのか。
課長 そのとおり。
問 「ミニデイサービスよつば」事業の実施時間・内容・サポーターへの補助等が事業所により違いがあるように、どのサービスも利用者へのサービスの公平性や低下が起きないように、また、気持ちよくサポーターとして参加してもらえるよう要望を聞き、町の責任で基準を決めて実施してほしい。
課長 今後、事業所等

と話し合いながら考えていきたい。

介護保険認定者への介護用品（おむつ等）購入補助について

問 在宅介護をすすめる行政として、低所得の要介護者に対し、経済的負担軽減として紙おむつ等の介護用品購入費用への補助を要望する。
課長 総合的福祉施策の中で考えていきたい。

子どもの医療費窓口無料に向けた町の取り組みについて

問 現在窓口無料を実施している県では市町村からの働きかけが大きいと言われている。先の9月議会での「機会があれば届けていきたい」との答弁後、機会があったか。
町長 上伊那広域連合長名で県議会へ要望し、長野県町村会大会で決議し国へ届けた。

一般質問

春日街道先線、現計画のその先の計画は

町長 新町地区、羽北地区合同の仮称：南部道路改良委員会を立ち上げたい



熊谷 久司 議員

問 春日街道先線整備事業の進捗状況は。
課長 対象の範囲の約80%の用地買収が完了した。2016年3月までに一部着工の見通しがあった。
問 現計画では2020年羽場JA虹のホール伊北まで延伸となっているが、そこで止まってしまうのは羽北地区

の渋滞問題は解決されない。5年後、計画どおり羽場まで来た時にはその先の計画ができてほしい。そのためには今から動き出す必要があるが、町はどう考えるか。
課長 現時点では白紙状態ではあるが、今後新町地区を含めた仮称南部道路改良委員会に発展させ、切れ目ない事業採択に向け協議していきたい。

近隣3市町村の定住自立圏について

問 伊那市を中心市とした箕輪町・南箕輪町の3市町村による定住自立圏ができるのとこのだが、その経緯・背景はなにか。
町長 事前に相談を受けてはいない。新聞等の報道内容を知っている程度だ。
課長 伊那市に尋ねたところ、伊那中央病院の運営母体である伊那中央行政組合を構成する3市町村で始めて、

将来的には上伊那8市町村、さらに木曾も含めた範囲に広げたいとのことだ。

問 辰野町はこの伊那市を中心市とした定住自立圏に加入する方向にあるのか。
町長 国勢調査によると伊那市に通勤通学している割合が7.7%とのことである。箕輪町16%、南箕輪町30%で、定住自立圏を構成する周辺市町村は10%以上の目安がある。

地元企業の育成について

問 米玉堂食品は、なぜ工場移転してしまうのか。
課長 今回の工場移転は誠に残念だ。土地の取得価格の隔たり、災害に備えた製造拠点の分散化、200mの製造ラインの用地確保ができなかった、などの理由による。今後も本社は辰野町に残し既存施設、土地を活用して頂きたいと思う。

一般質問

荒神山に幼保・義務教育学校・辰野高等学校・信州豊南短期大学との連携による幼保から大学までの一貫校の設置の考えは

教育長 運営主体が異なるため、厳しいと思うが、実現可能かどうかということとは別として、ユニークな提案だと理解したい



小澤 睦美 議員

灯油購入券

配布事業について

問 ここ数年実施してきた灯油購入券配布事業を今年度実施する予定があるか。また、今後灯油価格が上昇した場合、検討の考えは。
課長 現在、灯油価格が過去5年比で低く推移しており配布の予定はない。

障がい者及び高齢者等に係る通院等のためのタクシー・バス利用料金補助事業について

問 今年度全面改正されたが、不都合が生じたのか。又、変更点は。
課長 700円券36枚から千円券24枚に改正、町営バス利用の利便性を図った。

問 今回の改正により今まで交付されていた方で、交付されなくなった方がいる。再度調査し対応する考えは。
課長 必要があれば調査する。

通学区域制度の弾力的運用について

問 川島地区の子どもたちが他小学校に通えないのは不平等との声がある。集団生活の充実を体験させたいとの願いは、充分教育的配慮に該当し、指定校変更事由に該当すると思われる。変更の手続き方法、申請時期について。
教育長 個別の事情に

小・中学校の適正規模・適正配置について

問 心身の発達に際して、基礎的なものから一貫して行える義務教育学校を設置する考えはないか。
教育長 適正規模・適正配置を考える時、検討することになる。

より通学校を変更している児童も今までにいる。その様な事態が生じたら相談していただきたい。
小・中学校の適正規模・適正配置について
問 検討は、辰野町が行うのか、教育委員会が行うのか。
教育長 教育総合会議にて決定する。
義務教育学校の設置について
問 設置について



荒神山ウォーターパーク

一般質問

サル対策の現状と捕獲に対する町の考えは

町長 捕獲数を上げて、駆除が追いつかない



宇治 徳庚 議員

問 有害鳥獣とりわけサル対策の現状と捕獲に対する考えは。
町長 有賀峠でもサルが目撃されるなど、近年サル被害が町内に拡散している。以前から町は有害鳥獣対策協議会を組織し、実働部隊として猟友会を支援している。駆除について

も現在は、捕獲計画数を引き上げているが、駆除が追い付かないのが現状。
問 有害鳥獣捕獲数はいつ、どのように決まるか。
課長 町の有害鳥獣被害防止計画を協議会専

門部会で検討し、3ヶ年の計画を県と調整、最終的には協議会総会で決めている。毎年被害状況や地元の要望も考慮して、駆除数の見直しもしている。
問 町のサルの分布、群れ数、生態の把握は。
課長 5群れ、600匹とされ、上伊那地区では伊那市に次いで多い。川島地区でメスにGPSを付けて追跡調査したところ、住宅近くに居留していることも分かった。
問 ここ5ヶ年のサル捕獲数の実績は。
課長 平成24年許可200匹に対し148匹、25年は150匹に対して147匹、26年は140匹に対して140匹、今年は200匹に引き上げて

現在136匹となっている。今年は伊那市の170匹より多い計画である。
問 伊那市のサル「罍いワナ」は一年で65匹捕獲したが、評価は。
課長 捕獲方法としては有効と思う。サルも学習能力が高いので捕獲後は近付かなくなり、二年目はゼロと聞いている。設置すると移動が出来にくいとも聞いている。

問 捕獲後の処分をクリンセンターで焼却出来ないか。
課長 平成19年に上伊那広域では、ごみ処理施設へ受け入れないことを決めている

問 大型「オリ」「ワナ」設置で抜本駆除する考えは。
課長 捕獲数まで駆除し、追い払いで対応。現時点での「大型オリ・ワナ」の導入は難しいと考えている。

一般質問

小規模水道や農集排施設の統合のための課題、負担金の見直しは

町長 施設の水準・料金を町の上・下水道に合わせる等、地元の合意が必要。農集排の加入申込金は見直しを検討する。



向山 光 議員

上水道・下水道施設の統合への課題について

問 小規模水道施設の現状と統合への課題は。

課長 小規模施設は11あり、内、水道法適用外は4施設。人口減による料金収入減、運営経費の増加により経営が困難となる可能性がある。維持管理に人的支援を始めている。施設の整備、料金体系の見直しも必要となる。

町長 上水道は企業として運営しており、そこへ簡水等が入ってくることに。統合に向け、補助金により施設を整備することも相

談したが、小野簡水以外は地元がまとまらなかった。料金が上がること等について住民の合意が必要。

問 農業集落排水の現状と統合への課題は。

課長 下水道・農集排の面整備は平成20年度に完了。受益者負担金の単価、使用料算定の違いがあり、すり合わせが必要。処理場の後利用も課題となる。



辰野北部農業集落排水施設

農集排加入申込金の見直しについて

問 農集排の加入申込

金が多額であり、見直しの考えは。

課長 全事業費の20%を加入戸数で割って各地区の金額が決定した。63万円から168万4千円までとなっている。統合協議の中で見直しを検討したい。

問 移住・定住を促進していく上でも、百万円を超える加入金は課題。早急な見直しを。

倒木等による被害防止対策について

問 風水害・積雪による倒木・枝の落下による道路・河川の事故・災害防止対策は。

課長 事故・災害発生の場合の賠償責任は山林所有者にある。事故防止の啓発を進める。

問 森林の持つ公益的機能にも配慮し、事故防止への補助金や賠償責任への保険を。

課長 現在、そのような制度はない。国・県へ働き掛けていきたい。

一般質問

運営形態が変わる地区介護予防事業の目指す所は

町長 総合事業のなかで「ふれ愛サロン」として気楽におしゃべりする場所としたい



堀内 武男 議員

問 介護包括ケアシステムの狙いは。

町長 役割を分担し、住み慣れた地域で暮らすための体制を住民と協力して作っていく。

課長 要介護者も認知症の人も可能な限り在宅でケアし、看取りも出来る仕組みを整える。

問 通所型サービス「よつば」は現在5か所で

実施しているがその狙いと拡大計画は。

課長 参加者の質の向上と介護予防が狙いで、各区1会場を上限にサポーター600人を養成し、総合事業として拡大したい。

問 介護予防に向け、「チェックリスト」の活用が必要と思うが、その拡大促進は。

課長 来所以外に電話訪問、地区の介護予防事業時に実施。来年度は65歳以上の方にも送付する。また介護予防手帳を配布して普及啓発に努める。

問 地区介護予防事業運営費用補助の考えとサポート体制は。

課長 運営費補助は基準額に各区の高齢化率、人口を考慮して、増額を検討する。また講師派遣、計画づくりは従来どおり支援センターで担当する。

荒神山公園の環境整備の見直しが必要

問 つつじの花が咲か

ないが原因と対応策は。

課長 数年刈り込みを行なっておらず、開花はもとより、景観的にも良くない状況である。シルバー人材センターへ年2回草刈りを委託しており、同時作業を検討中。



環境整備が待たれる荒神山公園

問 桜のてんぐ巣病対策が必要であるが。

課長 公園全体で確認され、冬の時期に駆除が必要である。早めに対応し撲滅を図りたい。

問 ウォーターパークのプールに水が入っており、環境、衛生上問題だが、周辺環境と合わせた対策は。

課長 安全・衛生・景觀上よろしくない状況であり、関係課と相談して対応を検討したい。

一般質問

TPPの大筋合意について町長の所感は

町長 国は充分な生産者支援を行うとしており、生産者が希望を持てる施策となるか引き続き注目したい



中谷 道文 議員

問 国のTPP交渉の大筋合意を受け、生産者や、関係者は大変に農業の前途を心配している。町長の所感は。
町長 わが国の置かれている実状もあり、やむなしとも感じる。また、今後の国や県と連動した施策や支援は必要と考える。
問 町内大口生産者(10

戸)の現在希望している対策についてまとめてみたところ

- 一、米の消費拡大
- 二、機械更新支援
- 三、営農センター強化

や特産品作出

- 四、堆肥センター
- 五、農用地幹旋等

があった。課長の思い、現在の取組みの状況は。

課長 米の消費拡大の一部の取組みとして、

ふる里納税返礼品に辰野産米を、また東京朝日会や東京辰野会に呼び掛け紹介を開始した。大型機械購入時支援については、営農組合が近日法人化の方向であり、その中で進めていきたい。また国の支援事業もあり検討したい。堆肥センターについては、新しい方式で継続していきたい。営農センター強化については検討課題とした

い。農地幹旋や流動化対策は、農業委員会の新しい制度や農地中間管理機構と合わせ考え

たい。

問 農業と観光をセツトで元気な地域や町おこしを進めるべき。(提案)人の流れを。

- 一、観光資源強化や施設(道の駅等)
- 二、ボランティア活動

による景観造成が大切と感じる

- 三、町の特産品を作出しよう。
- 四、辰野町のPRをもっと展開し移住定住や二地区居住の推進

を提案する。

町長 道の駅(直売所)等については、動きありと聞かすが、まだ未知数。

課長 ほたる童謡公園ふれあい市場で試験検討中。観光の町として町全体で、ボランティア活動化できれば大変ありがたい。

問いかけ 高齢者の生き甲斐対策、健康増進対策や特産品作出に務め農業と観光で元気な町を。

一般質問

四つある目標の内どれを突破口に戦略とするか

町長 多くの人が思っていることの集約が四つの目標



垣内 彰 議員

問 国は、①雇用創出

②地方への人の流れ③結婚・出産・子育て④

時代に合った地域連携という四つの大きな目標実現のための「戦略」を地方に描かせようとした。それを受けての町の戦略は何か。

町長 戦略、戦術とはつきりした区分をつけるのではなく、基本目標を作って、さらにそれを実行するための施策を考えるという形態でやっている。

問 五次総・後期基本計画の中から重点目標を取り出す形で作られた「辰野町版総合戦略」

は解り易くて良い。策定の経緯は。

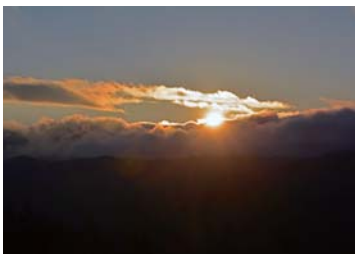
課長 国からの指示により産官学金労言の代表と公募の委員を入れ総勢31人で策定した。月1回計5回開催し多くの意見を取り入れた。

問 それは戦術。町長以外、コンサルといえど「戦略」について言及できないだろう。

課長 素案作成に加わった団体と現在調整中。

町長 公園全体の計画として、見極めをしながらはならない。特に総合管理計画を策定しなければならぬ時期に来ているので全体が見渡せる状態になるまで公開を待つように指示した。

問 利用者団体・関係者を集め、使いやすく、統一感のある荒神山になるような計画を早く策定して欲しい。



2016年元日の日の出 大城山より

【見出しの質疑応答】

問 住民の最大関心事である「道路問題」が「総合戦略」に無いのは

なぜか。

課長 町側の努力だけではできない、ハードルも高い問題なので、総合戦略の中には入っていない。

問 町だけではできないからこそ政府の言う総合戦略の一つとして目標に掲げるべきだった。荒神山の総合計画について、6月議会で「ウォーターパーク」以外

は公開できると答弁していたが。

課長 素案作成に加わった団体と現在調整中。

町長 公園全体の計画として、見極めをしながらはならない。特に総合管理計画を策定しなければならぬ時期に来ているので全体が見渡せる状態になるまで公開を待つように指示した。

問 利用者団体・関係者を集め、使いやすく、統一感のある荒神山になるような計画を早く策定して欲しい。

課長 素案作成に加わった団体と現在調整中。

町長 公園全体の計画として、見極めをしながらはならない。特に総合管理計画を策定しなければならぬ時期に来ているので全体が見渡せる状態になるまで公開を待つように指示した。

問 利用者団体・関係者を集め、使いやすく、統一感のある荒神山になるような計画を早く策定して欲しい。

課長 素案作成に加わった団体と現在調整中。

町長 公園全体の計画として、見極めをしながらはならない。特に総合管理計画を策定しなければならぬ時期に来ているので全体が見渡せる状態になるまで公開を待つように指示した。

問 利用者団体・関係者を集め、使いやすく、統一感のある荒神山になるような計画を早く策定して欲しい。

課長 素案作成に加わった団体と現在調整中。

町長 公園全体の計画として、見極めをしながらはならない。特に総合管理計画を策定しなければならぬ時期に来ているので全体が見渡せる状態になるまで公開を待つように指示した。

問 利用者団体・関係者を集め、使いやすく、統一感のある荒神山になるような計画を早く策定して欲しい。

課長 素案作成に加わった団体と現在調整中。

一般質問

本年度

辰野病院の経営状況は

町長 努力はしているが、
厳しい状況に変わりない



山寺 はる美 議員

問 27年度収益を上げるため改善した内容は何か。

事務長 地域包括ケア病床の効率的運用、2月には電子カルテの運用開始を予定。経費削減には小さな事から取り組み中。

問 人間ドックは病院経営の上で医師の負担軽減にもなるし、特色ある病院づくりができるのではないか。

事務長 人間ドック、今の状態は患者さんに満足してもらえ体制が整っていない。

問 役場職員には健康診断、人間ドックは義務付けられていると聞く。まず職員が受けてどうか満足できないのか問題を提供していただきたい。



課長 辰野病院は救急病院の指定を受けているが小児や整形外科患者を受け入れていない。特に夜間、休日、開業医の先生方が医療を行っていない時間帯だけでもいいから、取りあえず受診をお願いしたい。

課長 コンビニ受診的な受け入れは医師が疲弊する。年齢も4人が50歳以上で限界。

問 受診できなければ電話での対応、指示を丁寧をお願いしたい。

認知症初期集中支援

チームについて

問 来年度から町が設置を予定しているという、認知症初期支援チームとは、設置の方法、誰がどのように支援するのか。

課長 早期発見、対応で進行を遅らせることが目的。専門医、保健師、看護師、介護福祉士らで疑われる人や家族、医師から連絡をもらい訪問、支援要請などを医療福祉につなげる。町では地域包括支援センターを中心に4月からの稼働を目指している。

9月の一般質問項目
ホタルの減少対策その後の対応状況について

課長 ホタルの減少を科学的に調査研究するため、信大の特任教授を退官された宮崎先生を臨時職員として11月からお願いした。

一般質問

伐期を過ぎても放置されている森林をどのように整備するのか

町長 有用材間伐の促進などの対策を効率的に進める必要性を感じている



根橋 俊夫 議員

伐期を迎えている森林整備について

問 伐期を迎えている森林面積はどのくらいあるか。また、経済的価値は現在の相場でのくらいか。

町長 アカマツなど針葉樹を中心に多くが伐期を迎えている。これらの木材の量は、225万1千㎡と推定

され、1万円/㎡とすると225億円となる。有効利用するには間伐をすすめる必要がある。

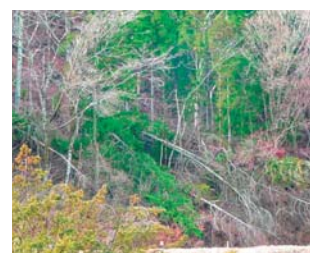
課長 森林面積は、町有林が460ha、共有林が5,902ha、個人等有林が3,338haとなっている。これら全体の94%が標準伐期を迎えている。

問 間伐事業を推進するためには、計画の策定、搬出方法、販売対策などの課題解決のため、専門的な知識が必要であるが、県や森林組合等の専門家の協力を仰いで、検討会議を設置して推進する考えはないか。

課長 すでに一部の地域では実施しているが、今後さらに検討して推進していきたい。

森林資源の活用対策について

問 森林資源活用対策の一環として、ペレットストーブ・薪ストーブへの購入助成や町内産用材による住宅新築



未間伐のため倒木した森林

に対して助成する考えはないか。

課長 ペレットストーブ購入については、10万円を限度に実施しているが、薪ストーブ購入助成や住宅建築費への助成については今後の課題と考えている。

マイナンバー制度について

問 マイナンバーについて多くの町民が不安を感じている。本制度における町の責任は何か。また、情報漏れ等のセキュリティ対策はどのように行っているのか。

課長 町は、法律による受託事務上の責任があるが、一般業者の責任はない。中間サーバーの共同設置により情報管理の万全を期す。

第8回

議会報告会

第8回議会報告会が11月15日に開催され、71名の参加があり、全体会及び初企画の分科会に分かれた意見交換会で、活発な意見交換が行われました。当日の主な内容についてお届けします。

全体会 議会報告

①6・9月定例議会の報告

②総務産業・福祉教育常任委員会活動報告

③議会広報委員会報告

意見 9月・3月議会は、予算に関する議会と聞く、議会の関わりや機能とは。

議長 9月は、前年度の決算等各事業に関するチェックを行う。3月は、新年度予算について、内容をチェックし提案や要望を行なう重要な議会となっている。

意見 議会だよりを見ても、町民の意見に対し議会の声が見えてこない。議員個々の意見が見えるようにしてもらいたい。

議長 本会議、委員会への多数の皆さんの傍聴をお願いしたい。

分科会 総務産業常任委員会

◎辰野町の産業・観光について

地域経済の発展・方向およびほたる祭りのあり方等について活発な意見が出されました。

意見 一番心配なのは、ホテルの減少。育成について専門家に相談するべきだ。

委員長 専門知識を持っている機関に相談すべきとの提言を決算審査の中で行っている。

意見 町民全体ではたる祭りを盛り上げるといふ考えから離れてきている。たとえば踊りにしても年々連が減少してきている。



総務産業常任委員会分科会

委員長 今日のご意見を実行委員会に伝え、企画部門の中で検討してもらうよう要望したい。

意見 町政における観光産業の位置づけは。

委員長 役場内に観光室を設置し推進している。また、町観光協会では地元特産品の認定等も進めている。観光ルートの開発では、上伊那広域や北部3町村の観光協議会が設置され推進されている。

分科会 福祉教育常任委員会

◎地域医療について

辰野病院のあり方、第一、川島診療所等について活発な意見が出されました。

意見 地域医療を考える医師はいるはず。赤字でも良いので高い理念を持った医師を町外から連れてきてほしい。

委員長 辰野出身の医者等に声をかけ、町外から呼ぶことが必要。

意見 公立病院の運営はとも厳しいと思う。運営形態を変えて経営して行くことも考えないといけないと思う。

委員 議会の中でも検討して行く。

意見 川島でもデマンドバスを利用し辰野病院へ送迎できるように効率よくしたらどうか。

委員長 システムを考えていく必要がある。



福祉教育常任委員会分科会

意見 近くに医療機関があった方が安心。地域性を持った医療機関を残してほしい。

委員長 今回対象区へアンケート調査を実施した。診療所についてどうしたいのかということを住民と懇談していかなければならない。アンケート結果だけを見るのは危険だと思う。

《お願い》議会報告会の詳細については議会ホームページをご覧ください。

編集後記

広報委員 山寺 はる美

新人議員が担当することが習わしとなっているという広報委員に選出されて、3回目の議会だよりの編集となりました。

初めての経験で、戸惑いながらも、先輩議員の指導をいただきながら、見よい、読みよい、親しみやすい議会だよりにしようと、毎回悪戦苦闘しながら、真剣に取り組んでいます。

今回の議会報告会には、多数の方々に出席していただきありがとうございます。女性と若者の参加が少なかったことが残念でした。議会だよりも、女性や若者に関心をもっていただけという、もっと工夫と努力をしなければと思っています。アイデアをお寄せください。

